

科目	単位	時間	履修学年	講師名
老年看護学概論	1	15	1	
ねらい	老年期にある対象の特徴を理解し、老年看護の役割を理解する			
回数	授業内容			授業方法
1回目	1. 高齢者の理解 ① (P.2~22) 1) 老年期にある人の身体的・精神的・社会的特徴 2) 身体機能の加齢変化 3) 老年期の発達課題			講義
2回目	2. 高齢者の理解 ② 1) 高齢者の感覚器・運動器の疑似体験			講義・演習 グループワーク
3回目	3. 超高齢社会の統計的輪郭 (P.24~36、国民衛生の動向) 1) 超高齢社会の現状 2) 高齢者と家族 3) 高齢者の健康状態 4) 高齢者の暮らし			講義
4回目	4. 高齢社会における保健医療福祉の動向 (P.36~54) 1) 保健医療福祉制度の変遷 2) 高齢者医療			講義 グループワーク
5回目	5. 高齢社会における権利擁護 ① (P.54~67) 1) 高齢者虐待 2) 権利擁護のための制度			講義
6回目	6. 高齢者社会における権利擁護 ② 1) 高齢者の権利を支えるとは			講義 グループワーク
7回目	7. 老年看護の役割 (P.73~83) 1) 老年看護における注目すべき4つの側面 2) 老年看護の特徴 3) 老年看護に役立つ理論・概念 4) 老年看護に携わる者の責務			講義
7.5回目 (45分)	終講試験			試験
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 国民衛生の動向 (毎年8月に最新のものが出版されます。9月に購入予定です。)			
評価方法	筆記試験 (1時間【45分間】: 80点)、レポート 20点			
備考	老年看護に携わるために必要な基礎知識を得る科目です。加齢変化について、身体的・心理的・社会的側面を理解し、生活を整えること、超高齢社会の様相、自立と権利を守るための社会制度について学習します。まず、高齢者に関心をもつことから始め、授業前の予習をしておきましょう。			